

第115期 中間報告書 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

株主の皆様へ

YODOGAWA STEEL WORKS
Steel sheet / Building material / Exterior / Roll / Grating

株式会社 淀川製鋼所

証券コード5451

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第115期第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業の内容につきましてご報告申し上げます。

また、当社市川工場で7月に発生しました冷間圧延機の火災事故につきましては、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

平成25年12月

代表取締役会長

國保 善次

代表取締役社長

河本 隆明



國保会長（左）と河本社長（右）

価輸入材の影響が緩和するとともに、高水準を維持している建築着工や持ち直しつつある機械受注などを背景に鉄鋼内需は堅調に推移しております。

このような環境下にあって当社グループは、積極的な販売とコストダウンに努めるとともに、国内市場では需給が改善しつつあるなか、当社鋼板関連商品の価格改定について顧客のご理解を得られるよう努めてまいりました。また、7月10日に発生しました当社市川工場における冷間圧延機の火災に対しては、その損失を最小限とすべく、調達・生産・販売においてグループ総力を挙げて対応するとともに、設備の早期復旧に努めました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高754億86百万円

（前年同期比33億23百万円増）、営業利益32億67百万円（同6億95百万円増）、経常利益42億97百万円（同12億15百万円増）、四半期純利益11億32百万円（同7億66百万円増）となりました。

なお、中国の子会社である淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司の連続式溶融めっき設備及び連続式塗装設備は、2013年6月より稼働を開始しております。

また、中間配当金につきましては、1株当たり5円とし、12月2日よりお支払いすることといたします。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、着実な回復軌道をたどっており、期初から堅調に推移している個人消費、公共投資や住宅を含む建築着工に加え、鉱工業生産や機械受注などにも改善の動きが見られております。

世界経済では、中国をはじめとする新興国の成長は一進一退のやや不安定な状況ながら、欧州

の景気後退に底入れのきざしが見えはじめており、米国経済も量的金融緩和の縮小予測などから一時的な足踏みが見られるものの、引き続き緩やかな回復を示しております。

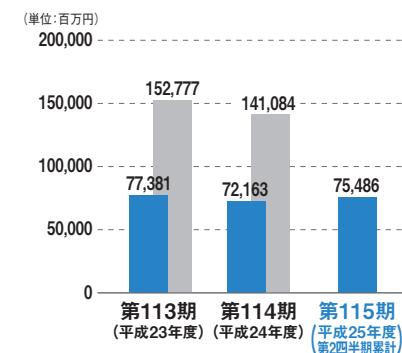
鉄鋼業においては、中国鉄鋼業の供給過剰を背景に海外市場の需給は引き続き軟調となっておりますが、国内市場では、円高の是正に伴い安

連結業績の推移

■ 第2四半期 ■ 通期

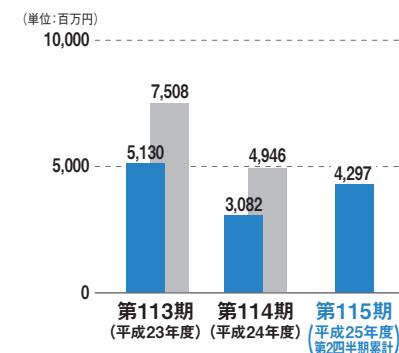
売上高

前年同期比 4.6%増



経常利益

前年同期比 39.4%増



四半期(当期)純利益

前年同期比 209.3%増



首都圏へのアクセスに優れ 国内トップクラスの取扱量を誇る鉄鋼専門埠頭

京葉鉄鋼埠頭株式会社

淀川製鋼所市川工場における 原材料および製品の物流基地

京葉鉄鋼埠頭株式会社は、千葉県市川市にある鉄鋼専門埠頭です。淀川製鋼所市川工場に隣接し、鉄鋼製品の取扱量では国内トップクラスを誇っております。東京湾の中核に立地していることから、首都圏の顧客へのアクセスに優れる点が大きな特色です。

専用岸壁は長さ300mで、4つのバースをはじめ、大型船舶に対応した32トンの水平引込クレーン、品質保持のための防湿倉庫などの設備を備えています。先進の設備を活用した入庫から出庫まで社員による一貫作業を実施しているほか、荷主の要望に応じた勤務体制を整えております。

当社では主に、淀川製鋼所および新日鐵住金の製品を取り扱い、船からの荷揚げ、積み込み作業をはじめ、各

倉庫での入庫・保管・出庫作業、顧客への配送業務を行い、ヨドコグループでは、市川工場における原材料および製品の物流基地としての機能を担っており、設立以来、順調に成長を続けてきました。また、高い自己資本比率のもとで健全な財務体質を維持しております。

安全を最優先に、 品質と効率化を重視してサービスを提供

当社が設立されたのは、1968年6月。臨海工業団地が建設されたのにもない、淀川製鋼所と八幡製鐵との合併事業として設立され、東京湾での中継基地として運送業務を手がけました。1970年代から1980年代にかけては、淀川製鋼所市川工場の設備増設にともな

い、倉庫の新設、設備を増強。また、淀川製鋼所および新日本製鐵とのオンライン化により、入庫・保管・出庫まで、一連の物流業務の効率化を追求してきました。

2011年の東日本大震災では、地盤の液状化現象によって倉庫内が影響を受け、一部の製品に被害が発生しましたが、全社員一丸となって復旧作業に臨み、短期間で復旧しました。

業務の遂行にあたっては、安全をすべてに優先することで、無事故・無災害の職場を構築するとともに、荷主および顧客に対する、より品質の高いサービスの提供に取り組んでおります。具体的には、顧客ごとの留意事項を周知徹底させるため、「顧客別作業仕様書」を活用し、また、誤出荷・過積載を防止するために、バーコードを導入しております。安全面においては、年度計画に基づき無災害・無事故を目標に活動を推進しております。サービスの品質を向上させるため、従業員教育にも力を注いでおり、中堅社員を対象とした研修会を開催しているほか、JK活動、コンプライアンス教育などを定期的に行っております。



水平引込式クレーン

時代の変化に対応し、 事業の新たな可能性を追求

当社は、ヨドコグループの一員として業績の拡大および企業価値の向上に貢献すべく、経営環境の変化に臨機応変に対応した経営を展開してまいります。今後は、鉄鋼業における物流の再編、また顧客の海外移転も考えられます。このような現状を踏まえ、海外の市場にも目を向け、新規事業への取り組みも検討してまいります。



代表取締役社長 國保 善次



代表取締役常務 大丸 良樹

会社概要

商号：京葉鉄鋼埠頭株式会社
所在地：千葉県市川市高谷新町5番地
設立：昭和43年6月8日
代表取締役：社長 國保 善次
常務 大丸 良樹

資本金：3億円
株主：(株)淀川製鋼所 新日鐵住金(株)
その他大手商社6社

事業内容：港湾運送事業 倉庫業 自動車運送取扱事業
取扱貨物：鉄鋼製品など
従業員数：99名（平成25年9月30日現在）

地元行政とのつながり

当社は、千葉県および市川市と防災協定を締結しており、災害発生時の物資の緊急・救援輸送・保管等の協力指定業者として物流機能で社会に貢献致します。

自然災害への備えが求められる中、 防災面における社会貢献をめざしています。

大地震をはじめとする自然災害への対応が求められる現在、当社ではヨド物置をはじめとするエクステリアや、金属屋根・壁材などを通じた防災面の提案を強化しています。今回、「防災倉庫」としての取り組みを中心に当社の考え方を説明いたします。

災害時に役立つ商品を長年にわたり研究

東日本大震災の発生以降、災害の備えに対する社会の意識は大いに高まったといえます。しかし、実際の備えはどうかというと、必ずしも十分とはいえないようです。当社実施のアンケート調査によると、84%の人が防災用品を「準備しておきたい」と答えているのに対して、「準備している」との回答は47%にとどまっており、20%程度の地域もあります。こうした現状を踏まえて、当社としては防災面においてどのような提案ができるかを考えてきました。

当社はヨド物置をはじめとするエクステリア商品および金属屋根・壁材を取り扱っていることから、大地震をはじめとする自然災害に備えて、どのような貢献ができるか、早くから取り組んできました。たとえば、8年ほど前から、大学の環境関連部門と共同で飲料水や非常食などの

防災用品等を物置に長期間保存した場合、その品質がどのように変化するかを調べてきました。一方、災害が発生した際に役立つ商品の開発を進めてきました。

地震への備えのほかにも、雪害や台風を想定した高強度の金属屋根や、防火性能を高めたガレージなどの開発を継続的に行っています。こうした取り組みは社内だけでなく、他社との共同企画を進めているほか、産学連携を通じた研究開発を積み重ねてきました。

各地で導入が進む、 防災倉庫としてのヨド物置

現在、当社が防災面で提案に力を注いでいるのが、「物置という防災」というコンセプトです。ヨド物置はサビに強いガルバリウム鋼板を採用しており、屋外での耐久性に優れています。加えて、商品ラインナップの一つ「ヨド蔵MD」は、内壁と外壁の間にウレタンフォームを充填することで、優れた断熱性を発揮することから、飲料水や非常食の長期保存に適しているといえます。



ヨド物置エスモ

こうした商品の長を活かして、当社は防災用品を収納、備蓄する屋外設備としてのヨド物置を提案しています。また、物置は物資を備蓄する設備にとどまらず、物資を取り出した後、間仕切りなどを行うことで、災害時に応急トイレや更衣室、授乳スペースなどの用途で活用することも可能であり、その為の間仕切りやカーテン等もオプションとして用意しました。「エスモシリーズ」については、地震の揺れによる収納物の落下を防止するバーも用意しており、いざという時を想定した機能を備えています。さらには、防災用品等を手がけるミドリ安全株式会社様と提携することで、ヨド物置と防災用品のセット販売も行っており、防災に対するご要望に幅広く対応しています。

当社が提案する防災倉庫は、各地の地方自治体や学校、事業所、町内会、広域避難所、マンション管理組合などで導入が相次いでおり、地域防災の一翼を担っています。

「防災のヨドコウ」をめざして、 商品開発を強化

当社では、他社との共同開発を含め新たな機能を付加した商品の開発にも積極的に取り組んでいます。その一つが、大震災を想定し



可動間仕切り



センサードライブ

て震度6弱程度の揺れを感知した際、ドアを自動解錠する物置です。これは解錠に電力を用いないのが特長で、停電時に鍵がなくても揺れに応じて鍵が自動的に開く仕組みとなっており、防災倉庫として役立つものと考えています。なお、地震自動解錠装置の開発に際しては、大学の建築学部と共同で実験を行い、世界中で過去に発生した地震の揺れを再現することで、装置の仕様を決定しました。

こうした防災倉庫の提案に合わせて、今年2月からは防災を啓蒙する広告をテレビや新聞、ラジオ等で展開しています。その結果、一般のお客様からも「防災について考え直す機会となった」、「屋外に備蓄することは思いもつかなかった」といった好意的な評価を多数いただきました。また、10月に発表された第53回「消費者のためになった広告コンクール」（公益社団法人日本アドタイザーズ協会）にて、「Jブロック銅賞」を受賞しました。

当社は、今後も防災倉庫をはじめ、金属サイディングや金属屋根、さらには太陽光発電システムを備えた物置などの商品開発を進めることで、地震をはじめとする自然災害に強い「防災のヨドコウ」として、社会に対するさらなる貢献をめざしていきたいと考えています。



解錠装置

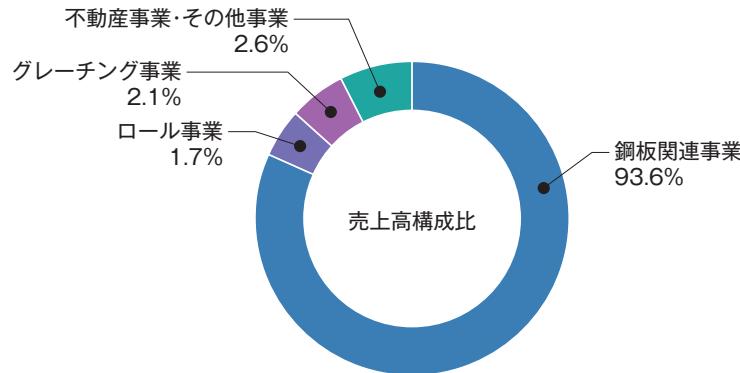


売上高 **75,486**百万円
(前年同期比4.6%増)

営業利益 **3,267**百万円
(前年同期比27.1%増)

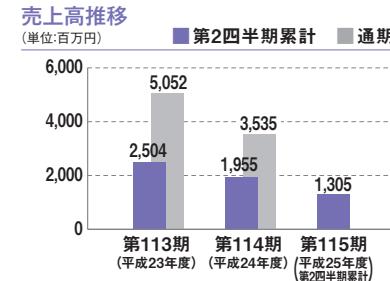
経常利益 **4,297**百万円
(前年同期比39.4%増)

四半期純利益 **1,132**百万円
(前年同期比209.3%増)



ロール事業

1,305百万円
(前年同期比33.3%減)



鉄鋼向けは、引き続き国内外ともに熾烈な価格競争により厳しい状況

非鉄向けは、新興国の自動車需要の拡大に伴う自動車用タイヤ製造設備向けのゴム用ドリルドロールの販売が堅調



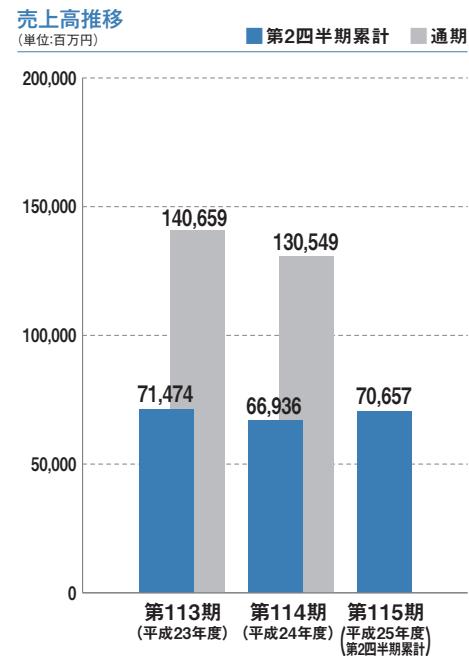
ドリルドロール

今後の取り組み

新材質の薄板圧延用ロールが好評、更なる拡販に努めます。

鋼板関連事業

70,657百万円
(前年同期比5.6%増)



鋼板業務

- ▶ 円高の是正、国内需要の改善により増収
- ▶ 建材向けめっき鋼板は、物流倉庫、商業施設など非住宅向けが好調
- ▶ カラー鋼板は、住宅向け、省エネ家電向けともに好調に推移
- ▶ 国内一般流通向けは、各特約店に応じた拡販の提案が奏功し、増収

建材業務

- ▶ 建材商品は、ルーフが販売数量の増加と期中から価格改善もあり増収
- ▶ エクステリア商品は、テレビCM等の積極的な拡販策により堅調に推移
- ▶ 防災関連商品は、防災展への出品・テレビCM等を通じ引き合いも増加
- ▶ 工事グループは、ショッピングセンター、工場、物流倉庫等の大型物件納入



YSS社 連続式溶融めっき設備



ヨド物置 イメージキャラクター 篠田麻里子さん

ヨド物置エスモ

今後の取り組み

(鋼板業務)

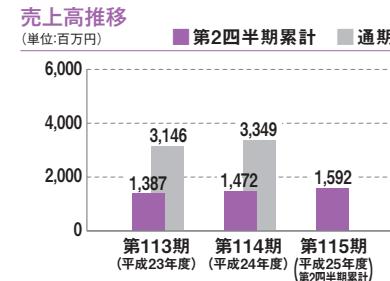
・高付加価値商品の拡販と収益改善に努めます。
・中国YSS社・タイPPT社ともに品質・納期の安定生産を通じ、現地需要家との関係強化に努めます。

(建材商品)

・景気改善に加え東京五輪開催決定に伴い、関東地区での重要増に対応する体制を構築します。
・消費税増税後の需要減に対処すべく新商品の開発や拡販策を検討しています。

グレーチング事業

1,592百万円
(前年同期比8.1%増)



▶ 施工・施工業者に対する営業活動により高速道路、プラント向け案件受注

▶ 国道のトンネル補修工事で「さびガード」を納入、東北地方の官公庁物件で投雪溝蓋向け「かるがるグレーチング」を受注



ヨドグレーチング さびガード



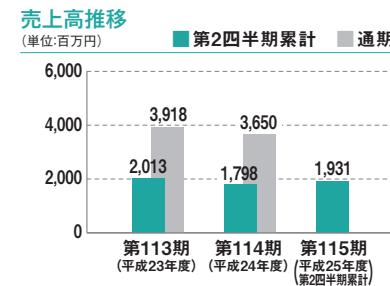
ヨドかるがるグレーチング

今後の取り組み

高機能商品の拡販と官公庁への提案を引き続き行います。

不動産事業・その他事業

1,931百万円
(前年同期比7.4%増)



▶ 不動産事業は、賃貸用不動産の効率運用に努めるも減収

▶ その他事業は、運輸・倉庫業が増収

▶ 泉大津工場内に設置した太陽光発電システムから再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく売電を開始



泉大津工場 太陽光発電システム

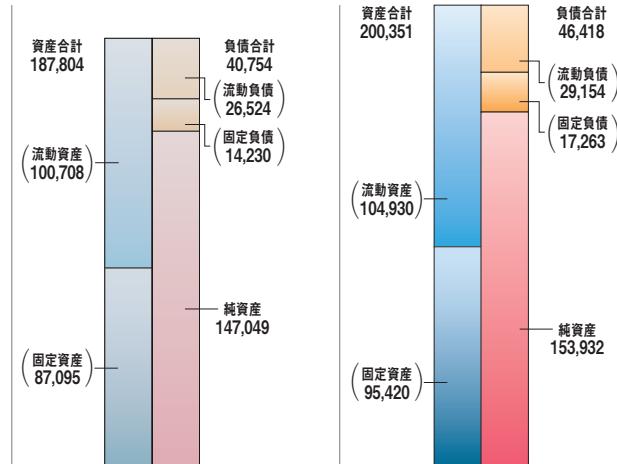
今後の取り組み

今後は、全国の工場建屋の屋根・壁や遊休地などでも太陽光発電システムの設置を検討してまいります。

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

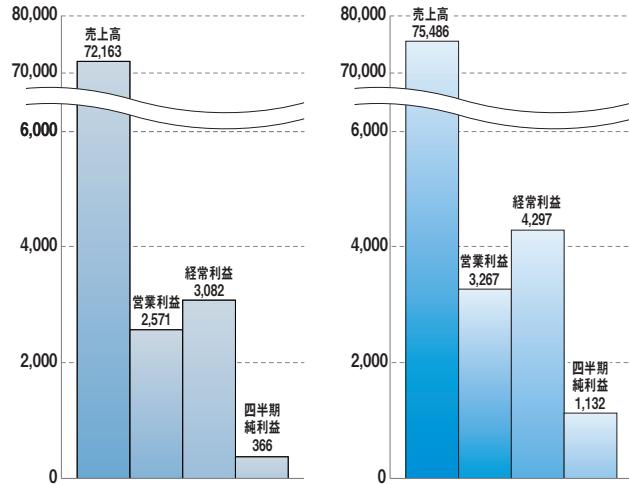
第114期 期末(平成24年度) ▶ 第115期 第2四半期(平成25年度)



連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

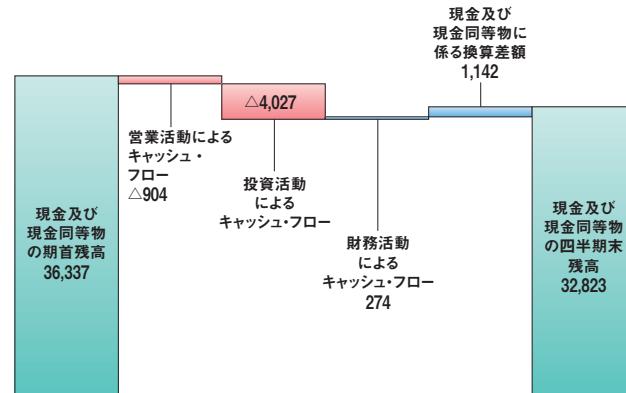
第114期第2四半期累計(平成24年度) ▶ 第115期第2四半期累計(平成25年度)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

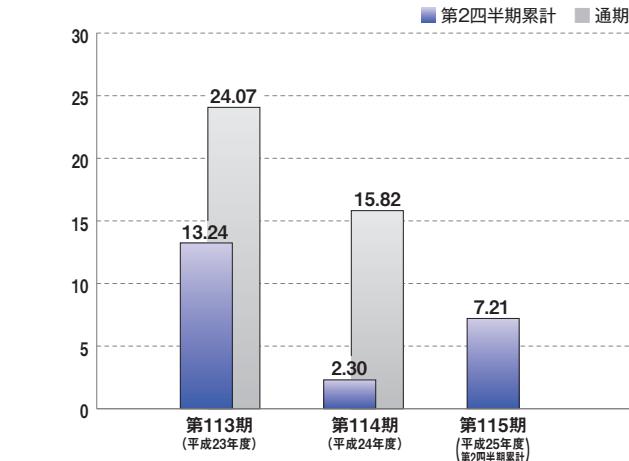
(単位:百万円)

第115期 第2四半期(平成25年度)



1株当たり四半期(当期)純利益(連結)

(単位:円)



当社の概要

社名 株式会社淀川製鋼所
 設立 昭和10年1月30日
 資本金 23,220,815,228円
 従業員数 1,253名

当社の主な事業所

本社 〒541-0054
 大阪市中央区南本町四丁目1番1号
 06-6245-1111

支社 〒104-0041
 東京都中央区新富一丁目3番7号
 03-3551-1171

営業所 札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎、東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括、大阪統括、神戸、岡山、福山、広島、高松統括、高知、八幡、福岡統括、鹿児島、沖縄

工場 大阪(大阪府)、呉(広島県)、市川(千葉県)、福井(福井県)、泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

- 連結子会社
 - 高田鋼材工業株式会社 鋼板の加工および販売
 - 盛餘股份有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - 白洋産業株式会社 鉄鋼卸業、運送業
 - 京葉鐵鋼埠頭株式会社 倉庫業
 - ヨドコウ興発株式会社 ゴルフ場等経営および不動産賃貸
 - 淀川盛餘(合肥)高科技鋼板有限公司 鉄鋼製品の製造および販売
 - PCM PROCESSING (THAILAND) LTD. カラー鋼板の製造、加工および販売
- 持分法適用関連会社
 - 株式会社佐渡島 鉄鋼卸業

当社の役員

取締役	執行役員
代表取締役会長	國保 善次
代表取締役社長	河本 隆明
取締役	専務執行役員 西村 修
取締役	常務執行役員 大森 豊実
取締役	常務執行役員 林 眞生
取締役	石田 榮次
	上席執行役員 大森 眞
	上席執行役員 澤田 滋
	上席執行役員 鉄橋 彰
	上席執行役員 二田 哲
	執行役員 海老原洋一
	執行役員 渡辺 隆昌
	執行役員 服部 格
	執行役員 中野要一郎
	執行役員 河本 善博

※石田榮次氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	境口 勝己
監査役(常勤)	向井 信正
監査役	湯浅 光章
監査役	宇津呂 修

※湯浅光章および宇津呂修の両氏は会社法に定める社外監査役です。

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

証券会社の口座に記録されている株式		特別口座に記録されている株式	
お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会(※) ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(※)未払い配当金のお支払いについては、株式会社みずほ銀行本店および各支店でもお取り扱いいたします。

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話…………… 0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット…………… <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
郵送物送付先…………… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部



重要文化財

ヨドコウ迎賓館のご案内

旧山邑家住宅



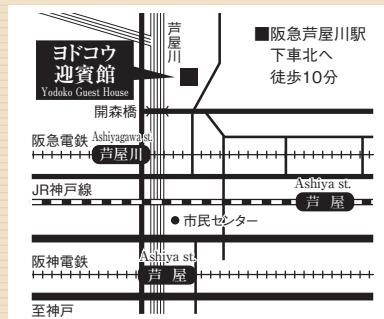
フランク・ロイド・ライト 設計

開館ご案内

開館日・水・土・日曜日と祝日
開館時間・10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料・大人・大学生 / 500円 団体 / 400円(30名以上)
小・中・高校生 / 200円 団体 / 100円(30名以上)

お問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
<http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>



スチール! & アイデア! ヨドコウ

〒541-0054
大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL.(06)6245-1111(大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>